

議員定数問題 について

現在32人



現在、尾道市議会では、議会活動の活性化及び市民に開かれた議会を目指してさまざまな議会改革に取り組んでいます。その中の重要な課題の一つである『議員定数』について、市民の皆様のご意見をいただきながら、議論していくため、尾道市議会議員定数の推移、合併前の各市町の議員定数、県内市・姉妹都市の状況、各会派の考え方を掲載します。

■ 県内市・姉妹都市の状況

市名	人口(人)	面積(k㎡)	定数(人)	前回選挙時の候補者数(人)	次期改選年月
広島市	1,184,517	905.41	55	83	平成27年4月
福山市	473,079	518.14	40	49	平成28年4月
呉市	240,968	353.85	34	40	平成27年4月
東広島市	183,733	635.32	32	37	平成27年4月
尾道市	146,614	284.85	32	36	平成27年4月
廿日市市	116,984	489.36	30	34	平成29年3月
三原市	100,281	471.13	28	36	平成29年4月
三次市	56,711	778.19	26	28	平成28年4月
府中市	42,841	195.71	22	27	平成26年4月
庄原市	39,507	1246.60	20	23	平成29年4月
安芸高田市	30,875	537.79	18	20	平成28年11月
竹原市	28,644	118.30	14	15	平成26年11月
大竹市	28,501	78.57	16	21	平成27年8月
江田島市	26,505	100.97	18	21	平成29年10月
今治市	169,764	419.90	34	37	平成29年2月
松江市	207,218	573.00	34	42	平成29年4月

※人口は平成24年12月31日現在

■ 尾道市議会議員定数の推移

選挙執行年月	人口(人) (各年4月1日現在)	議員定数(人)	摘要
昭和22年4月	59,891	36	地方自治法
昭和58年4月	103,534	34	市議会議員定数減少条例
昭和62年4月	101,548	31	〃
平成11年4月	94,401	28	〃
平成15年4月	93,091	26	市議会議員定数条例
平成17年4月	116,818	34	増員選挙(御調町3人・向島町5人)
平成18年2月	152,746	45	増員選挙(因島市8人・瀬戸田町3人)
平成19年4月	151,586	34	市議会議員定数条例
平成23年4月	147,149	32	〃

■ 合併前の各市町の議員定数

尾道市	26人
御調町	16人
向島町	16人
因島市	20人
瀬戸田町	16人
計	94人



■これまでの検討の経過

議員定数問題については、議会改革特別委員会の中で、平成24年3月8日、3月21日、4月20日、5月31日の計4回協議し、各会派の趣旨説明の他、今後の進め方等を検討しました。その結果、特別委員会から引き継いで、各会派代表者会議の中で検討することとなり、平成24年6月26日、8月23日、平成25年1月21日、2月12日、3月19日、4月16日、5月15日、30日、7月19日、8月29日、9月4日、13日、10月21日、11月21日、12月3日、17日の計16回開催し、過去の経緯や他市の状況等を調査しながら、各会派の考え方を真剣に検討してきました。また、平成25年3月8日には、全員協議会を開いて、議員個人としての意見も聞きました。

以上のような経過を経て、会派の考えを以下のとおり集約しました。

■各会派の議員定数(案)と考え方

新和会

内海龍吉、山根信行、宮地寛行
吉田尚徳、巻幡伸一、松谷成人

28人

類似都市データを参考。14万人都市は14団体。平均議員数27.21人。10万～15万人都市は84団体で、平均議員数は26.42人。

市民連合

城間和行、村上弘二、山戸重治
檀上正光、三木郁子

30人

議会のチェック機能がどれだけ果たせるか。面積が広く、合併地域の意見をどこまで吸い上げることができるかと、市の人口が合併時から約5,000人減の現状を総合的に考慮して。

新風クラブ

新田隆雄、田頭敬康、藤本友行
金山吉隆、杉原孝一郎

28～30人

議会は行政のチェック機関であり、議員は政策提案力を磨き、市民の声を行政に反映させる立場である。地方分権が進む中、真面目に取り組めば片手間でやれる職務ではない。そうした状況を考えた上、当面28～30人程度が良かろうと判断している。

誠友会

佐藤志行、吉和 宏、高本訓司
柿本和彦

32人

皆の理解が一定になるまで、時間をかけて話し合ふべき。議員3年目の終わりとか、4年目の中間あたりまでいい。根拠をはっきり市民に説明できるようにすること。尾道は海事都市だから、海域の面積も含めて考えないといけない。

日本共産党

寺本真一、魚谷 悟、岡野長寿

32人

削減すべきでない。議会の役割は、市民の声を市政に届け、市民の目線で行政をチェックすること。合併により議員数は大幅に減って(94人→32人)おり、さらなる削減は二つの役割を後退させることになる。

公明党

福原謙二、加納康平、荒川京子

28人

議員自らの意識を変え、日々の議員活動を充実させることで、議員のいない地域のことも含め尾道市全体を見て、大きく動き、活動をすれば各地域の声も、行政チェック機能も果たすことはでき、議会の役割は4減の28人でも果たせる。

Withおのみちの声

宇根本茂、前田孝人
二宮 仁

26人

行財政改革を進めている中、議員自ら身を削る定数削減は必須である。市民のコミュニケーションが可能なエリアを模索すると、目安として市内を13のコミュニティエリアとする見方がある。その地域に議員が2人いれば、十分民意を反映することができる。

尾道クラブ

飯田照男、新田賢慈、村上泰通

30人

行政側が財政健全化を言い、職員定数削減問題が出てくる中、議員が身を切ることも必要。2人削減は、特に根拠はないが、職員と比べると議員のウェートは大きい。